

な か ま

福岡県知的障害者施設保護者会連合会 会報

発行
福岡県知的障害者
施設保護者会連合会
(略称：福施連)

編集
会
報
委
員
会

〒812-0854
福岡市博多区東月隈
3-1-4-106
☎/FAX (092) 503-0579

終の住処はどうなるのか！

何かおかしい障害福祉と介護保険との合体

障害者も65歳になれば一般老人扱いの介護保険適用が優先され、これでは生活できないと現在全国で数件が裁判継続中です。

免除されていた入所施設利用者にも、介護保険の網のなかに取り込む計画の議論が現在進行中です。

私たち家族の切実な願いは、現在利用している入所施設が居住権もある住居として保障され、仲間と共に笑顔で過ごせる暮らしの実現です。

父母やきょうだいがいなくても慣れ親しんだ施設の職員と仲間たちに見守られ、人生の最後を迎えられることです。

5月に介護保険法が改訂され、介護医療院と共に新設されるのが「共生型サービス」です。

介護保険・障害福祉法による事業所の建物や職員配置・報酬基準などを緩めて、老人・障害者(児)の支

援も介護も事業を一体化させ、予算支出を削減しようとの狙いです。

生まれながらに発達が遅れている知的障害者と、長い人生を自力で働き、認知症になった老人との同一施設生活が、職員の絶対的不足がある現状で、日々穏やかな暮らしの保障ができるのでしょうか。

あきらめないで

高めよう家族の声

障害者福祉と介護保険を一体化して福祉予算を削減させたい厚労省の根強い願いは、数年前の民主党政権の誕生と自立支援法への全国の障害者団体の強い反対運動の高まりの中で一旦は水面下に沈みました。

ようやく国連障害者権利条約が2017年1月に批准されて、これからの福祉の向上が期待されていたのですが、障害者や家族の運動の弱

まりを見透かしたかのように権利条約違反ともいえる福祉予算削減政策が声高に議論されつつあります。

しかし、私たち知的障害者の家族はあの運動から何を学んだのでしょうか。何もなくても国内法より上に位置する国連障害者権利条約が批准されたからと安心して、運動への情熱が薄らいだ結果でしょうか。

身につけよう

ひとり一人の発言力を

家庭の様々な事情で面会にも保護者会の集まりにも欠席されて、施設任せの家庭が増えています。

しかし、利用施設がなければもっと大変な毎日であることを考えて、我が子らの食事・入浴・遊びや行事の時間などなどの有様を家族はもっと深く知る必要があるでしょう。

福祉法を一步一步前進させ、利用者の暮らしをよくするため、家族が我が子らの暮らしに寄り添って施設と対話を深めることなしには進歩しないことを心に刻みたいものです。

定期大会で役員改選

活動方針は継続

平成29年度福施連定期総会が5月28日にクローバープラザ506号室で開催されました。

昨年の全施連全国大会や、今年度の全施連総会でも確認した請願4項目を柱に、今年度も各行政機関や議会各派に意見交換を申し入れ、請願採択の成功を図ることにしました。そのために、▼研修会開催 ▼会報「なかま」発行 ▼内部学習会 ▼福施連「しおり」を活用した施設訪問を行い会員拡大などの活動方針を決定しました。

なお、役員の任期満了に伴い次の方々が改選、承認されました。

執行部役員名

- 会長 八木 トミエ (養徳苑)
- 副会長 奥 昭義 行対(第二田川学園)
- 副会長 横澤 直樹 研修(こすもす園)
- 副会長 庄山 祝 組織(蓮の実園)
- 副会長 田中 勝子 広報(城山学園)

事務局長 高倉和義 (第二赤坂園)
各専門部会副委員長名

行対委員会 未定

研修委員会 小田部忠夫 (個人会員)

広報委員会 高倉和義 (第二赤坂園)

組織委員会 横山みどり (蓮の実園)

なお、福施連設立以来副会長として活躍された井本邦幸氏は病氣療養のため退任されました。

「井本さん、有難うございました」

経過報告と

当面の課題促進

理事会

平成29年度第一回理事会在が9月6日にクローバープラザ506号室で開催されました。

はじめに八木会長からの直近情勢報告に続き、副会長より全施連理事會・九州協議会について報告がされました。

その他の伝達事項では ◆全施連P

工會議第二部(入所施設在り方検討會議)の費用支援カンパの促進 ◆福施連賛助会員募集継続 ◆昨年の「全施連大会参加感想文集」の買い上げ促進の再要請がされました。

その後、各委員会ごとの分科会で新メンバーの顔合わせや、当面の活動を確認して理事会を終了しました。

施設保護者会紹介 第二田川学園

第二田川学園は、平成6年5月に田川市川宮に開園した定員50名の入所施設です。「社会福祉法人東田川福祉会」として、他に通所施設2ヶ所・グループホームと相談支援センターがあります。

園内行事は、誕生会、買い物学習、手打そばを食べる会、一泊旅行や雛祭りなどが行われています。

中でも手打ちそばを食べる会は、保護者会主催で奥会長が山形から取り寄せた蕎麦粉を利用者の目の前で

全施連九州協議会で

副理事長と幹事を選出

平成29年7月4・5日に長崎県諫早市で第11回九州協議会が開催され、各県からの活動報告と全施連総会で承認された組織強化策として副理事長の増員に、熊本県施連会長の渡辺氏、幹事に八木会長が選出されました。

打ち立て、ゆでた蕎麦を昼食に提供し、利用者や職員に大変喜ばれています。

行事は保護者会総会、職員との懇談会、保護者会懇親会を開催し、福施連の行事にも積極的に参加しています。

奥会長は福施連副会長も担当し法人の評議員としても頑張っています。



第13回 全施連秋田大会終了 —理解深め合った討論会—

平成29年10月3日～4日に秋田市秋田キャッスルホテルで約400名が参加した全施連第13回全国大会が開催されました。

全施連の由岐理事長は「福祉の命を守ることの重要性を訴え続け、知的障害のある人達が安心して暮らせる社会を作り上げよう」と挨拶されました。

討論会には由岐理事長、仙台市のあおば園家族会大野会長と秋田県育成会の高橋会長が登壇されました。

由岐理事長は「行動障害の場合は施設から断られることがある。どんな理由であれ、障害のある人には支援が必要」と話されました。大野会長は「利用者の高齢化に伴う看取りや支援体制の充実、特に職員の質の向上と増員を求め続けることが重要」

と訴えられました。

また、育成会の高橋会長も「本人だけでなく、親も高齢になると介護が必要になり、子供の送迎などや親亡きあとの問題を考える必要がある」と発言されました。

これに対し、3名の施設側を代表して福田理事長は「要望は十分にわかるが実現は現状では難しい」と答えられました。

家族会と施設側の発言に対して、活発な質疑が交わされ、ある出席者から「真剣な質疑応答に自分の甘さを反省した」との声も聴かれました。



最後に秋田県連の米森真弓さんが大会決議文を読み上げ満場一致で採択して無事終了しました。

全組織で足並み揃える活動を！

全施連理事会で協議

今年度全施連第2回理事会が9月4・5日大阪で開催されました。

由岐理事長は開会あいさつの中で、「全施連は全国の施設利用者の代弁者として活動して、知的障害者の幸せを願って12年活動してきた。

今、組織の在り方は大きな曲がり角にきている。統一組織体であるべき時期に、情報交換のみの協議体になりつつあるようだ。

協議体と組織体では決定事項の拘束力が違う。決議を実行する組織体になるべきである。請願4項目の活動も進んでいない。全国組織として統一的な活動が今、まさに求められている」と述べられました。

審議に入り、政策運動部の計画については、ブロックではなく、三役


の役割だとの意見が出て、政策運動部の役割を再検討する。定款にない名称は細則変更で対応することで組織構成変更は承認されました。

PT会議(入所施設在り方検討会議)については、資金カンパも入金されつつあるので、日程調整を急ぎ、場所は福岡・埼玉・東京に絞ることにしました。

続いて全施連社員総会の会議となり、由岐理事長は直近の厚生労働省の動きについて「障害者福祉サービス等報酬改定検討チーム」が出来て障害者47団体で質疑応答が行われる。全施連は除外されているため、交渉の結果「意見の申出は検討する」と返事があったと報告がありました。また、神奈川県連から津久井やまゆり園の再建計画について、関係者でいろいろ議論されたが、家族会の願いがほぼ認められているとの近況報告もありました。



慢農産物
いろいろ
周防学園




ポンポン菓子の袋詰め作業

周防学園は、豊前市内のフルーツランドの中にある施設です。学園では、たまねぎ・ごま・みかんを使用した和風ドレッシングや、利用者が作った米を使用したポンポン菓子、季節に応じた新鮮な野菜などを豊前市「道の駅おこしかけ」で販売しています。

ポンポン菓子はプレーンのほか、玄米黒糖・ゆず・伊予柑・抹茶・あ

まおうなどの独自の味付けをしたものもあり、自慢の商品です。

また、季節に合わせて栗・さつまい芋・みかん・いちご・ブドウなども利用者が力を合わせて楽しく作っています。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。

秋田大会に参加して

日浅 幸子

10月の秋田はもう寒いと思っていました。二日間の大会でした。

会場には全施連会員や関係者約400名が集まり、知的障害者が暮らしやすい社会づくりや、障害のある人にもっと支援が必要な事などの話合いが行われました。

厚労省の片桐公彦氏の話の中で、私の心に強く残ったのは「障害者虐待防止対策等の法律があることを家族はもっと知るべきだ」ということでした。

この法律は、障害者を守るための

法律であり、家族は利用者のために施設側と勇気をもって対話をする知識を養う事が必要と思いました。

文集の完売にご協力を！

全施連全国大会には、福岡県内からは50名の大会スタッフや300人以上の参加がありました。

福施連加盟各保護者会会員にとつて又とない経験、又とない感動と刺激を受けた忘れられない思い出となったことでしょう。

この感動や思いをいつまでも忘れず、福祉向上活動の心の糧になればと原稿を募り、文集を作りました。施設職員の方々にも参考になる内容もあります。

現在300部余りの残部がありますので、完売にぜひご協力をお願いします。
 (広報委員会)

次回からの大会予定地

第13回全施連秋田大会も勇気と決意と更に大きな絆の必要を参加

者の心に刻んで終了しました。次回以降の開催地予定は次のとおりです。

- 平成30年度 兵庫県…：神戸市
- 平成31年度 宮城県…：仙台市
- 平成32年度 熊本県…：熊本市

編集後記

10月22日が投票日となった衆議院議員選挙結果は、多くの国民がドキドキして見守る重大な政治の色分けになるでしょう。

政党はいくつも生まれましたが違いは平和憲法の9条を守る考えか、9条を変えて戦前のように海外でも戦争する国にするかの二つです。

我が事丸事とは、障害者・老人・乳幼児の面倒は、我が家で解決せよ、不足は地域住民で助け合えとの考えで、福祉切り下げ宣言ともいえます。

選挙は税金の使い方です。どの党を選びますか。棄権はあなた任せと同じです。

